

令和2年9月
第6回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名	議 席	氏 名
3	山 下 清 美	<p>1 道の駅について</p> <p>道の駅については、昨年6月定例会で一般質問をしたところ、町長は「現時点では道の駅を設置する考えはない。清水公園や十勝千年の森など、集客の見込める施設での情報発信、物産の展示販売について充実していきたい」と、担当課長からは「清水公園が、町外の方が目的地として訪れる公園となるにはどうしたらよいか、どんな整備ができるか検討し、基本構想的なものをまとめる」との答弁があった。</p> <p>しかし、今年の3月定例会で、清水公園再整備計画が行われなくなった。</p> <p>そこで、「施設などでの情報発信、物産の展示販売について充実していきたい」ということだったが、今置かれている現状を踏まえて、改めて、道の駅を設置する考えはないか伺う。</p> <p>2 防災対策について</p> <p>8月30日付の十勝毎日新聞の1面に、十勝管内の豪雨による浸水被害や土砂災害が想定される地域にある要配慮者利用施設の避難確保計画の作成状況が掲載されており、本町では対象の7施設のうち、4施設で計画を作成している。今年7月の九州豪雨で施設入所者が犠牲になった例もある。</p> <p>各施設においても忙しいなか要配慮者が安心して生活できるよう作成に向け準備を進めていることと思うが、町として計画未作成の3施設の避難支援安全確保をどのように考えているか伺う。</p>

質 議	問 席	者 名	質 問 事 項
6	佐藤幸一	<p data-bbox="555 255 1246 293">1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p data-bbox="555 353 1410 533">新型コロナウイルス感染症対策の支援策として、非課税世帯や高齢者独居世帯、ひとり親世帯に対して上下水道の基本料金を減免することが効果的な生活支援の方法と考えるが、実施する考えはないか伺う。</p>	

質 議	問 席	者 氏	事 名	項
9	中島里司	<p>1 清水高校の現状維持は</p> <p>新型コロナの流行で要請活動に不自由な面があったと思うが、次の2点について伺う。</p> <p>(1)町及び教育委員会、関係団体等の要請活動は、誰がいつ行ったか。その結果と今後の見通しは。</p> <p>(2)議会でも意見書を提出しているが、要請活動については何も相談がなかった。なぜか。</p> <p>2 体育館建設の計画は</p> <p>体育館の建設について、次の点を伺う。</p> <p>(1)アンケート調査をまとめたのか。</p> <p>(2)建設計画（年次）は。</p> <p>(3)財源の内訳（予定）は。</p>		

質 議	問 席	者 氏 名	質 問 事 項
5	鈴木孝寿	<p data-bbox="555 257 1412 347">1 清水高校の間口減少をさせないための対応について</p> <p data-bbox="555 403 1412 537">道内の高等学校は人口減少に伴い、間口減少が止まらない状況が続く。本町にある清水高校も例外ではなく、4間口は維持されているものの、現状においては3間口の生徒数で推移している。</p> <p data-bbox="555 548 1412 683">公立の高等学校の一般的な考え方として教員配置において1間口を除き偶数における運用が管理費用の関係から一般的で、奇数の間口は必ず数年以内に偶数の間口運用になる。</p> <p data-bbox="555 694 1412 828">現状4間口募集から3間口募集に変わった時点で、将来的に2間口に確実にすると予想されながら、本町として現在さらには今後どのような方策を考え行動されているか伺う。</p> <p data-bbox="555 929 1412 974">2 人口減少対策における企業立地の現状について</p> <p data-bbox="555 1030 1412 1164">企業立地を推進する意味は、その企業で仕事をする選択肢の増加につながり、より定着して本町に定住する人を増やす手段でもある。</p> <p data-bbox="555 1176 1412 1310">しかしながら、現状の企業立地の推進方法では、本町に工場設置の投資や会社としての登記を必要とし、最初から大きな先行投資をしなければ企業立地として認めない状況である。</p> <p data-bbox="555 1321 1412 1456">まずは出先としての機能を有するための営業所等の設置でも企業側がメリットを感じる現実的な補助・助成措置を作る必要性があると思われるが町長の考えを伺う。</p>	

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
		<p data-bbox="555 255 1414 342">3 コロナウイルス感染症における今後の対策について</p> <p data-bbox="555 405 1414 533">コロナウイルス感染症の対策は国や道の指針等によりその財源とガイドラインによる対策を本町においても行っていると認識している。</p> <p data-bbox="555 551 1414 678">しかし、このコロナウイルス感染症が与える経済の低迷・生活様式の見直しは、本年だけに収まるとは考えにくく、将来を見越した対策も望むところと考える。</p> <p data-bbox="555 696 1414 779">これらを踏まえ、次の点について、今後の対策への考え方を伺う。</p> <p data-bbox="584 842 1299 875">(1)町内事業者への今後の措置の基本的な考えについて</p> <p data-bbox="584 938 1062 972">(2)奨学金利用者等への対策について</p> <p data-bbox="584 1034 1062 1068">(3)消毒液の全戸配布の考えについて</p>	

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
4	中河つる子	<p>1 高齢者が住み慣れた地域で生きていくのに何が必要か</p> <p>第7期清水町高齢者保健福祉計画の中に「住み慣れた地域で助け合い、自分らしく生きていくことのできる社会の実現を目指す」とあるが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 高齢者が一人で住むことに不安を感じるようになったときに安心して住むことができる、世話をしてくれる家(ケアハウス)があれば、この町に住み続けることができると思うが、設置の考えはないか伺う。</p> <p>(2) 高齢者の日常は通院が多い。町内のかかりつけ医のほかに専門の医師に診てもらうため、帯広の眼科、耳鼻科、整形外科等に通う人が多い。通院のために、多くの時間とお金を費やしている。これらの病気を診てくれる医師に来てもらうことはできないか伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏 名	質 問 事 項
2	川 上	均	<p>1 高齢者の在宅介護支援の推進について</p> <p>本町では、今後高齢者の増加に伴う在宅介護の増加が見込まれ、より密着したサービスの提供が求められている。</p> <p>そこで、今後の在宅福祉サービスの充実に向けた取り組みについて町長の考えを伺う。</p> <p>(1)現在、「介護用品購入費助成事業」での紙おむつ等の購入費用助成対象者は「要介護4」以上だが、利用者は16人と、ごく少数となっている。「要介護3」以下でも、在宅介護で1か月にかかる紙おむつの費用は1万円から1万5千円負担している人が4割とされ、介護の平均期間54.5か月の紙おむつ代は約54万円から82万円もかかり、家計の大きな負担となっている。そこで、例えば「要介護1」以上とすることにより幅広い対象者に助成を適用する考えはないか伺う。</p> <p>(2)家族介護者の身体的、精神的及び経済的負担は大きく、その負担を少しでも軽減するため、例えば「要介護3」以上の家族介護者に対し、月額1万円の「家族介護手当」支給についての考えを伺う。</p> <p>(3)寝具の清潔を保つことは、衛生上も必要不可欠であるが、現実には高齢者が自力で布団を洗濯することは難しい。そこで、保健福祉の向上を図るため、65歳以上で単身または高齢者のみの世帯を対象に、例えば月1回の布団洗濯・乾燥サービスを実施することについて考えを伺う。</p> <p>(4)高齢になるほど耳が遠くなる「難聴」で悩む人は多く、国内の難聴者は60歳代後半では3人に1人、75歳以上になると7割以上とも言われ、日常生活に支障を来すほど切実となっており、引きこもり、そして認知症の大きな要因とも言われている。一方、補聴器の補助は身体障害者手帳の取得が条件で、分類では「高度難聴」以上、聴力レベル70dB以上となっており、重症にならないければ手帳は交付されない。いわゆる、難聴レベルが「中等度」の普通の会話に支障を来す場合は個人購入となり、実際には高額で手が届かず、難聴を更に悪化させる要因にもなっている。</p>

質 議	問 席 氏	者 名 事 項
		<p>そこで、認知症予防と生活の質の低下防止のため「中等度」の40 dB以上70 dB未満で障害者手帳該当者を除き、例えば上限を5万円とした補聴器購入の助成実施について考えを伺う。</p> <p>(5) 自ら理美容院へ出向くことが困難な高齢者に対し、理美容事業者による訪問での理美容サービスの実施について考えを伺う。</p> <p>(6) 以前、民生児童委員サポーター制度の導入について質問したが、在宅介護支援のニーズ把握等に重要な役割が期待されることから、その検討の進捗状況について伺う。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の取り組みについて</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大から6か月が過ぎ、私たちの生活はこれまでの人とのつながり重視から、「3密」を避ける生活に一変し、社会的・経済的にも大きな影響をもたらしている。</p> <p>このコロナ禍は今後も繰り返し流行する可能性が高いと言われており、わたしたちも価値観の変容が求められている。</p> <p>そこで、秋冬のインフルエンザ流行期におけるコロナ対策と併せて、今後のまちづくりへの対応について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 十勝医師会が町村でもPCR検査実施に向けた体制づくりを行うとの報道があり、条件として「主に医師が検査の必要があると判断した患者で、無症状や濃厚接触者、陰性確認の検査は行わない」としている。しかし、今後流行期を迎えて医療や高齢者福祉施設、消防の救急隊員等の「エッセンシャルワーカー」関係者は、不安で検査を希望してもクラスターが発生しない限り、自費で民間検査を受けざるを得ないのが現状となっている。そこで、これらの関係者が安心して必要な時に検査を受けられるよう、一部でも町が費用を負担出来ないか伺う。</p> <p>(2) 以前質問したが、役場におけるコロナ対策としての「BCP（事業継続計画）」の進捗状況について伺う。</p>

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
		<p>(3) 災害時における避難所では、新型コロナ対策という新たな課題をもたらした。従来から避難所ではプライバシーの問題が大きな課題だが、キャンプ用テントがプライバシーとコロナ対策にも有効とされ注目されている。そこで、今後このテントを活用した避難所対策の実施が出来ないか考えを伺う。</p> <p>(4) 今後の流行期では、コロナ陽性者中の軽症者を隔離・療養することは家庭内感染防止上も重要とされている。そこで、現在の農業研修会館を必要時に軽症者用施設に使用出来ないか考えを伺う。</p> <p>(5) 新型コロナ禍により、行政の多くの事業がストップしているが、これら予算の執行残を新たに「コロナ対策基金」として積み立て、今後各種コロナ対策費用に充てることについて考えを伺う。</p> <p>(6) コロナ禍により企業のテレワークが常態化し、都会から地方に移住する人口が今後増加することを見据え、例えばテレワークオフィスを当面役場内に開設するなど、時代に合わせた移住対策の実施について考えを伺う。</p> <p>(7) コロナ禍は、観光・農業・商業・工業等も含め、今後行政全般の在り方も変化せざるを得ないと考えるが、現在取り組み中の「第6期総合計画」策定におけるコロナ禍対応について考えを伺う。</p> <p>3 役場職員退職者の再任用及び今後の技術系職員の計画的採用について</p> <p>役場定年退職者の再任用制度では、昨年6月の一般質問で町長は、一般労務職員について「再任用制度の活用を含め、人員確保に努めるとともに、その業務の執行に支障が出ないように適切に対処する」との前向きな答弁があったが、来年度の実施に向けての考えを伺う。また、一般技術職員が今後毎年退職するが、事業の継続及び災害時の対応も含めて、技術職の採用計画について町長の考えを伺う。</p>